

ドーハ国際園芸博覧会の準備に係る現地調査（案）

1 目的

2023年10月より開催されるドーハ国際園芸博覧会については、我が国の花き輸出の実績も乏しく、人的交流も少ない中、砂漠環境という園芸作物にとって過酷な状況下での博覧会となるため、事前に輸送試験や現地栽培試験を実施する。

2 内容

(1) 輸送試験（10月下旬）

予め、花き業界関係者（大田花き市場、JFTD、日本いけばな芸術協会、全国花き輸出拡大協議会など）の意見を踏まえつつ、具体的花きの輸送を実施。輸送中の温度管理、現地の検疫対応、着荷時の品質劣化状況等を確認。

(2) 現地展示試験（10月下旬）

輸送試験に用いた花き等を活用し、トルコキキョウなど12品目（調整中）の現地展示試験を実施。併せて花持ちや現地での展示物への反響等を確認。

(3) 現地関係者との協力体制構築（調整中）

現地関係者との協力体制を構築するため、カタール政府、現地造園業者等展示協力の可能性のある組織、博覧会開催期間中に、日本館PRへの協力が得られる可能性のある現地ホテル等との面談を実施。

3 品目（調整中）

(1) 切り花（8品目）

トルコキキョウ、ラナンキュラス、ケイトウ、ダリア、グロリオサ、オキシペタルム（ブルースター）、スカピオーサ、野バラ

(2) 枝物・実物（4品目）

キイチゴ、松類（ゴヨウマツ）、檜類（クジャクヒバ）、ツルウメモドキ